

「第6次新宮町総合計画後期基本計画及び
第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」
に対する意見募集の結果について

「第6次新宮町総合計画後期基本計画及び第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対し、意見募集をした結果について、新宮町パブリックコメント手続き実施要綱(平成24年3月新宮町告示第20号)第10条第1項の規定に基づき、次のとおり公表します。ご協力に感謝申し上げます。

(1) 計画等の題名	第6次新宮町総合計画後期基本計画及び 第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)
(2) 募集期間 (計画等の案の公表日)	令和7年12月25日(木)～令和8年1月30日(金) (令和7年12月25日(木))
(3) 提出意見	別紙のとおり
(4) 提出意見を考慮した 結果及びその理由	別紙のとおり

問い合わせ先 新宮町政策経営課

TEL: 092-962-0230 (直)

FAX: 092-962-2078

第6次新宮町総合計画後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）に対するパブリックコメントでの意見及び意見等に対する町の考え方

No	ページ	原文（該当箇所）	意見等内容	回答
1			<p>新宮町では高齢化率が今のところ低いようですが、あと10年20年後は必然的に高くなると予想されています。高齢になると病気になる率も上がるので、その予防策として外出する機会を増やすのは当を得ていると思います。その一策としてコミュニティバス券やタクシー券が配布されたのは賛同できますが、特にタクシー券は使い勝手が悪いという評判を多く耳にします。500円券が一枚しか使えない上に、タクシーを呼んだら300円取られるのであれば、手出しの方が相対多くなるのでタクシーを使う高齢者はとても少ないと思います。</p> <p>コミュニティバスについてですが、使用を奨励されているふれあい交流館への便が極端に少ないので不便であるという声もあります。この交流館自体、しんぐるっとの集会でどのような使い方をしたらよいかの意見聴取をされたことがありますが、建物を建てるだけで使えば後から考えるとという当時の杜撰な計画を感じました。今後は運転免許を返納する高齢者が益々増えるので、ふれあい交流館の利用法とそこに行くコミュニティバスの運用を合わせて早急に有効なプランを立てるべきだと考えます。</p> <p>2年前から敬老祝い金が100歳だけに5万円を渡すようになりましたが、80歳代や90歳代の対象者が全て廃止されたのは糟屋郡の中では新宮町だけのようです。予算の問題があるとは言え、16人しかいない100歳に渡す5万円を減らしてでも80歳代や90歳代の人にもわずかの祝い金を渡すと喜ばれると思います。金額ではなく、周りから長寿を祝ってもらうことが高齢者の健康にもつながると確信しています。西日本新聞の報道によれば、敬老の日に関する予算が24年度は約250万円もあったようですが、25年度の予算はどれほどだったのでしょうか。今後は高齢者が益々増える世の中になるので、予算の関係でという理由で高齢者福祉が弱体化するのではないかと危惧しています。</p>	<p>できるだけ外出する機会（回数）を増やす、または外出控えを減らすことを目的としております。</p> <p>ふれあい交流館へのコミュニティバスでのアクセスにつきましては、令和7年3月のダイヤ改正により、平日のみ1日3便が運行している状況です。便数が少ないことに対して多くのご意見をいただいておりますので、今後、上府、三代地区周辺道路の整備状況に応じて、ふれあい交流館へのアクセス便数を含む相らんと線のダイヤ改正を検討することとしています。</p> <p>町の平均寿命は80歳を超え、70歳を過ぎても現役で就労されている高齢者や地域で活動される高齢者等、町においても高齢者の活躍の機会が増えてきているところであります。今後も更に高齢者一人一人が自分らしく生活を送ることができるまちづくりを目指して、介護予防や就労支援を推進し、高齢者の社会参加を充実させるため、長寿を祝福する敬老金の支給を100歳の方としております。なお、西日本新聞の報道に関するご指摘に関してですが、敬老の日に関する予算は24年度（令和6年度）は約170万円、25年度（令和7年度）が約250万円となっています。</p>
2	20	<p>基本目標2 自分らしく豊かな心を育むまち 「歴史の継承と文化の振興」</p>	<p>「歴史の継承と文化の振興」を実効性のある施策として推進していくためには、調査研究体制や情報発信拠点の在り方について、より踏み込んだ検討が必要ではないかと感じました。</p> <p>新宮町立歴史資料館については展示内容が町の歴史を丁寧に伝えるものとなっており、資料としての価値が非常に高いと感じます。一方で、来館者の増加や町内外への情報発信という観点では、立地上の制約もありさらなる工夫の余地があるように思われます。今後は、駅周辺などアクセス性の高い場所でのサテライト展示や情報発信拠点の設置を検討することも有効ではないでしょうか。</p> <p>また、歴史資料館を単なる展示施設としてではなく、調査・研究活動の拠点として位置づけ、専門家や大学と連携した研究の活性化を図ることも重要であると考えます。研究成果を、企画展や講座に反映させるとともに、収集資料や研究成果をインターネット上で段階的に公開することで、来館が難しい人々にも町の歴史に触れる機会を提供できると考えます。</p> <p>町内有数の歴史資源である立花山城跡については、その歴史的重要性に比して学術的な調査や研究成果の蓄積が十分に可視化されているとは言い難い状況にあると感じました。今後は、近隣の城跡における発掘調査や史跡整備の事例を参考にしながら、学術的裏付けに基づいた価値の再評価を進めていくことが求められると考えます。</p> <p>さらに相島は古代から中世・近世に至るまで国際交流史上、重要な役割を担ってきた地域であり、特に朝鮮通信使をはじめとする対外交流の歴史は、新宮町の特色を示す大きな資源であると考えます。現地に訪れた際には遺跡周辺の解説表示が読みづらい、あるいは簡潔すぎると感じる場面もあり、来訪者が歴史的背景を十分に理解しにくい状況にあるように思われました。今後は、遺跡周辺における解説文の視認性や内容の充実化を図るとともに、関連分野の研究者との協力（研究協力例：西南学院大学伊芝恵研究室）や展示・解説機能の充実を通じて、相島を拠点とした歴史発信を進めていくことが重要であると考えます。</p>	<p>館外でのサテライト展示については、展示資料の管理の点から実施は困難です。そのため、まずは設置個所の問題をクリアする必要がありますが、写真やパネル等を利用した情報提供の方法を模索します。インターネット発信については有効な手段と考えているので、どのように対応していくか研究していく必要があります。</p> <p>立花山城については1市2町にまたがる史跡であり、玄海国定公園内に所在するため、行政的・法的に様々な制約がかかっており、新宮町単独で対応していくことが困難な史跡です。ただ、新宮町サイドで対応できる部分もあるので、限られたスペースである資料館内で、今後計画している展示設備リニューアルの中で可能な限りの対応を検討します。</p> <p>朝鮮通信使については、これまでどおり資料館の展示資料を中心に啓発を進めていきます。</p>

第6次新宮町総合計画後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）に対するパブリックコメントでの意見及び意見等に対する町の考え方

No	ページ	原文（該当箇所）	意見等内容	回答
3	36	基本目標4 環境にやさしく快適に暮らせるまち「魅力ある土地利用の推進」	<p>持続可能な発展を基本に、既存市街地の成熟を踏まえた計画的な土地利用を進めていく方針に賛同します。一方で、具体的なエリアを想定した課題認識や将来像については、より明確な整理が必要ではないかと感じました。</p> <p>実際に西鉄新宮駅周辺を歩いてみると、駅近接地でありながら低未利用地や空き店舗が点在しており、立地条件に比して土地利用のポテンシャルが十分に活かされていない印象を受けました。西鉄新宮駅は町内で最も歴史のある交通拠点であることを踏まえ、JR新宮中央駅周辺を中心とした都市機能集約を進めつつも、西鉄新宮駅周辺をもう一つの交通・生活拠点として位置づけ、段階的な市街地更新を検討していく視点が重要であると考えます。</p> <p>また、西鉄貝塚線の利用者増加や沿線価値の向上を図る上でも、駅周辺環境の改善は欠かせない要素であり、交通施策と土地利用施策を一体的に捉えることが重要であると考えます。本施策において、西鉄新宮駅周辺の土地利用についても具体的な検討対象として位置づけ、町全体としてバランスの取れた都市構造の形成を図ることが望ましいのではないのでしょうか。</p> <p>さらに、中長期的な視点に立てば町と鉄道事業者（西日本鉄道）が連携し、既存市街地の特性を活かした段階的な再編・再整備を検討していくことが、持続可能な土地利用やまちづくりにつながるものと考えます。</p>	<p>貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
4	40	基本目標4 環境にやさしく快適に暮らせるまち「公園・緑地と自然環境の保全と整備」	<p>限られた財源や土地条件の中で、より魅力的で持続可能な公園整備を進めるためには官民連携の手法について積極的に検討する余地があるのではないかと考えます。</p> <p>近年では企業と自治体がパートナーとなり、公園と商業・交流機能を一体的に整備・運営する事例が見られます。例えば、立体都市公園制度を活用し、公共空間としての公園機能を確保しながら、上部や隣接空間に民間活力を導入することでにぎわい創出や維持管理費の軽減を図る取り組みも進められています。</p> <p>本町においても、今後の公園整備や再整備にあたってはこうした官民連携の仕組みを活用し、町と企業が役割を分担しながら、公園の質の向上や利便性の向上を図ることが中長期的に見て持続可能な公園・緑地の管理につながるのではないのでしょうか。特に、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が利用できる機能や、防災・環境教育の拠点としての役割を併せ持つ公園づくりにおいて、有効な選択肢の一つになると考えます。</p>	<p>貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。なお、新宮ふれあいの丘公園においては、パークPFI手法により屋内テニスコートの整備がなされております。</p>
5	56	基本目標6 地域の魅力を活かし賑わいを生み出すまち「観光の振興」	<p>現状では町内における宿泊施設の選択肢に限られており、観光が日帰りにとどまりやすい状況にある印象を受けます。特に相島については、歴史や自然といった魅力的な資源を有しているにもかかわらず、宿泊環境が十分に整っていないことが、滞在型観光の展開を難しくしている要因の一つであると考えます。今後は、大規模な宿泊施設に限らず、民泊や簡易宿所など地域の実情に即した小規模・分散型の宿泊形態を検討することで、地域への負担を抑えつつ滞在時間の延長や消費の促進につながる可能性があるのではないのでしょうか。</p> <p>また、新宮町は観光資源の「量」で他地域と競うのではなく、自然環境や静かな暮らしといった特性を活かし、「泊まること自体が目的となる宿泊」や体験型・滞在型の観光を志向することが有効であると考えます。特に相島のような環境においては、自然や歴史的背景を活かしたコンセプト性の高い宿泊形態を導入することで、新宮町ならではの観光のあり方を打ち出すことができるのではないのでしょうか。</p> <p>さらに、観光振興においては情報発信の内容だけでなく、「どこで、誰に届くか」という視点が重要であると考えます。新宮町には質の高い観光パンフレットが整備されている一方、福岡都市圏における知名度は十分とは言えず、情報が潜在的な来訪者に届いていない印象を受けます。町内や最寄り駅での発信に加え、博多駅や西鉄福岡（天神）駅といった広域的な交通拠点、さらには貝塚駅などにおいて観光情報を発信することで、来訪前の段階で新宮町を「行動の選択肢」として認識してもらおう動線づくりが可能になるのではないのでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本町は福岡市に近接し、交通便利性が高いことから、現状では日帰り観光が中心となっており、宿泊を前提とした観光地とは異なる特性を有しております。そのため、宿泊施設の誘致にあたっては、需要の動向や地域特性、生活環境への配慮などを総合的に勘案することが重要であると考えております。</p> <p>ご提案のような民泊や簡易宿舎の誘致については、町内の観光資源の磨き上げや体験型コンテンツの充実、周辺自治体との広域的な観光連携の状況などを踏まえながら、ニーズの把握と可能性の検討を進めてまいります。</p> <p>観光に関する情報発信においては、発信内容の充実に加え、「どこで」「誰に」「どのように」届けるかという視点が重要であると認識しております。</p> <p>特に、博多駅や西鉄福岡（天神）駅といった広域交通拠点は、県内外から多くの人が行き交う場所であり、来訪前の段階で新宮町を観光先の一つとして認識していただく上で有効な情報発信の場であると考えております。</p> <p>町ではこれまでも、観光パンフレットやホームページ、SNS等を活用した情報発信に取り組んでまいりましたが、今後はご指摘の視点を踏まえ、交通事業者や関係機関との連携を図りながら、広域拠点でのPR手法や効果的な媒体の活用について検討を進めてまいります。</p> <p>また、ターゲット層や来訪目的に応じた訴求内容の工夫を行い、「新宮町に行ってみよう」と感じていただける情報発信の充実にも努めてまいります。</p>